

平成26年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	今年の雪速報会2013-14	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	企画部
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

平成25年から26年にかけての降雪状況を関東地方の大雪を中心に振り返り、気象や雪そのものの特徴、自治体支援、現地調査を踏まえた解析といった多角的な話題から、今後の雪防災のあり方を考える。

2. 事業実施体制

主催：NPO法人水環境技術研究会、(公社)日本雪氷学会北信越支部、
(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター
協賛：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

開催日時：平成26年6月18日(水) 13:00～17:00

開催場所：長岡市内(アオーレ長岡 ホールA)

参加者：147名

プログラム：

- ①「2014年2月の関東甲信の大雪災害の概要と雪氷防災研の対応」
(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター
- ②「北陸地方を中心とした2013/14冬期の天候と降雪の特徴」
(気象庁新潟地方気象台)
- ③「この冬の気象循環場と降雪の特徴」
(国立極地研究所)
- 討議
- ④「北陸地方整備局における自治体(山梨県・埼玉県)への除雪支援」
(国土交通省北陸地方整備局)
- ⑤「山梨県・埼玉県への除雪支援」
(新潟県土木部)
- 討議
- ⑥「2014年2月中旬の南岸低気圧通過による雪崩災害の発生状況と特徴」
(新潟大学 災害・復興科学研究所)
- ⑦「国道17号群馬側で多発した雪崩とその対応」
(町田建設(株))
- 総合討議

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

平成17年から毎年開催しており、今回で10回目。豪雪地という地域特性に適った催しで、技術的理学的に多彩な分野から話題提供がなされることから関心を集め、年々参加者は多くなっている。
また、行政や研究者、民間技術者らが幅広く集うことで、それぞれの問題意識の共有や人的交流の促進にも寄与している。

